

築野運輸株式会社 環境方針

基本理念

私たち築野運輸株式会社は、法令を遵守し、事業活動において紀ノ川の豊かな自然環境と地球環境の保全を目指し、資源の削減・排出物の適正管理を推進し、地域の発展に貢献するとともに自然と調和した事業活動を行い、人と環境に優しい企業を目指します。

築野運輸株式会社 環境方針

基本方針

1. 環境に関する法令を遵守し、廃棄物の適正処理を行い、環境汚染予防に努めます。
2. 低公害車を導入するとともにエコドライブ運転を推進し、CO2の削減・騒音の低減に努めます。
3. 環境対策としての取り組みを「マネジメントシステム」として構築し、計画（Plan）実行（Do）チェック（Check）改善（Act）のサイクルを確実に実施し、継続的な改善を全社員が一丸となって行うとともに、環境意識の向上に努めます。

築野運輸株式会社 環境方針

基本方針

4. 廃棄物削減のため廃棄物の分別を確実に実行し、発生したゴミを資源として再利用リサイクルすることに努めます。
5. 環境方針を全社員に周知・徹底し社外にも公表します。

制定：平成25年4月1日

築野運輸株式会社

環境保全管理責任者 代表取締役 築野卓夫

環境保全推進責任者 角田博一・中家正人

整備管理責任者 岩崎勝利

令和 7年度 環境行動計画

1. 環境保全活動への取組みについての現状把握と課題

(1) 環境保全のための仕組み・体制の整備

荷主との協議による設備・配送方法改善による環境保全の向上を図るなど（レベル3）の取組みを実施。更に拡大していくことが今後の課題である。また、環境意識の向上を図るため、環境に関する教育を定期的に行う（レベル2）取組みを実施している。

(2) エコドライブの実施

アイドリングストップを推進するための装置を車両23台に導入。更に導入台数を増やし休憩・休息時のアイドリングストップを進めていくことが必要である。

前年度の燃費について

【最大積載量10 t 以上12 t 未満3.54km/ℓ 目標の3.52km/ℓ は達成】

【最大積載量12 t 以上17 t 未満3.30km/ℓ 目標の3.33km/ℓ は未達成】

【最大積載量17 t 以上2.38km/ℓ 目標の2.30km/ℓ は達成】

令和 7年度 環境行動計画

1. 環境保全活動への取組みについての現状把握と課題

(3) 低公害車の導入

昨年度においては、燃費基準達成車、低排出ガス認定車を4台導入済み。今年度は同じく最新の排ガス減少装置が搭載されたディーゼル車2台の導入を計画している。

(4) 自動車の点検・整備

おおむね各項目とも（レベル2）の取組みは実施している。

点検・整備体制や取組み内容について見直しを行うなど（レベル3）の取組みが必要である。

令和 7年度 環境行動計画

1. 環境保全活動への取組みについての現状把握と課題

(5) 廃棄物の適正処理およびリサイクルの推進

廃棄物処理は適正に実施している。

従業員への廃棄物に関する教育（環境法規制順守事項等）を実施する。

(6) 管理部門（事務所）における環境保全の推進

エコマーク製品などを優先的に購入する。また、コピー用紙・段ボール等の包装資材のリサイクルを推進。

簡易型の電気温水器を使用して省エネを図っている。

令和 7年度 環境行動計画

2. 目標

- (1) 実技講習によるエコドライブの推進
- (2) 燃費向上（対前年） 1 %
- (3) 事務所におけるエネルギー及び廃棄物削減の推進。

3. 目標達成に向けた具体的な取組み

- (1) 環境教育の推進

エコドライブに関する運転技術を毎月のミーティングや掲示を通じて周知し、外部施設による実技講習を行う。
ドライバーのエコドライブの向上を図る。

令和 7年度 環境行動計画

3. 目標達成に向けた具体的な取組み

(2) 燃費向上（対前年） 1 %

- デジタコでの評価[エンジン回転オーバー回数・時間] [速度オーバー回数・時間]をもとに走行の分析・燃費向上を図る。
- 休憩・休息時のアイドリングを削減するため、エコドライブを推進するための装置（ベバストヒーターベバストクーラー）をさらに導入する。
- 省エネ及びエコドライブ教育／月を実施。燃費向上について教育する。

(3) 輸送の大型化

大型（単車）トラック10トン輸送からトレーラーでの20トン輸送に可能な限り移行し、輸送トン数あたりの軽油使用量を削減する。